

株式会社
松井郁夫建築設計事務所
まちづくりデザイン室
165-0023
東京都中野区江原町1-46-12-102/203
TEL 03-3951-0703 FAX 03-5996-1370
URL: <http://matsui-ikuo.jp>
e-mail: ok@matsui-ikuo.jp



ごあいさつ

寒かった冬も峠を過ぎ、ようやく春めいてきました。
みなさま、いかががお暮らしでしょうか。

新刊本・新連載のお知らせ

新しい本が3月末に出版されます。農文協出版「百の知恵双書」の一冊です。タイトルは【木組】でつくる日本の家。(上・表紙) 伝統の木組を現代に生かし、山と職人を未来につなぐ、まさに日本の家づくりの知恵が詰まった本です。「保証だより」に連載した文章を、真鍋弘さんが親しみやすく再編集してくれました。

さらにNHK出版「住まい自分流」に【日本の材産】という新連載が始まります。全国の伝統素材の取材記事です。毎回スケッチも載ります。どちらも書店に並ぶ日は間近！手にとってご覧下さい。

▼長野県瑞穂村「紙漉きの家」 雪さらしの和紙「内山紙」の里



現在進行中

「越美文化研究所」実施設計

奥美濃の山間越前との境・白鳥に「歴史と文化の拠点」づくりが、いよいよ始まります。2月中には、工事会社が決まる予定です。雪融けとともに着工です。紅葉の頃の完成を目指しがんばります。



「下連雀の家」実施設計

都内の住宅地には稀な広い敷地に、ゆったりと下屋の伸びた現代的な木組の家をつくりまします。

小さなお子さんのいる若いご夫婦と犬が同居する家です。

数寄屋の風情を盛り込んだ、和の空間をご期待下さい。



「花小金井の家」実施設計

実施設計が終わり敷地の地盤調査も済ませました。

WS「き」組のスタンダードを超える、新たなキューブタイプの家になりそうです。

建主さんは石川棟梁をご指名です。見積もりよろしく！



施工：矢島工務店



「上田の家」実施設計

推敲を重ねることでデザインを洗練させました。

より明快なコンセプトの実践のための図面の整理と工事費の圧縮を兼ねています。

建物は工学的技術の集積では美しくならないことを痛感しました。ひと手間かけることでより良い家づくりを目指します。

「善福寺の家・Ⅱ」実施設計

空中バルコニーとパティオのあるおしゃれな家です。

中庭と内部につながり、自然と家の連続性が一体感を生むよう配慮しています。

小粒でデザインの切れの良い家をつくりまします。



「豊田の家」

「豊田の家」上棟

施工：風基建設



住宅であって別荘のような生活。そんな贅沢な家が、豊田の緑地に建ち上がりました。

電車からも良く見える緑豊かな公園内の斜面地です。

敷地の良さを十分に満喫していただくように、木立の中にデッキをつくりまします。

天気の良い日はデッキでの朝食も夢ではありません。夜は月見で一杯と思うのは設計者だけでしょうか。

WS「き」組のキューブタイプが別荘にもなることがわかりました。完成が待ち遠しい建物です。



▲南外観

下から見上げた外観。敷地の下は清流のある公園です

▲吹抜け

上棟式のとき、小屋裏に「へごし」を飾りました。1階から小屋組が見えます

▶1:50模型

ウッドデッキが付いて、いつでも森林浴が楽しめる家になります。



「宮原の家」

「宮原の家」上棟

施工：渡辺工務店



民家のようなダイナミックな木組にして数寄屋。現代的なモダンデザインにして古典という複数のコンセプトを持つ平屋の住宅が、大宮郊外宮原の地に建ち上がりました。

建て主さんは、これまでに4件もの家を建てたことがあるという猛者です。しかも京都に住まわれているときにです。なんとも頼もしい住まい手とつくる家は、こんなにも楽しくなるのかという見本です。

松丸太の梁がどっしりと載った居間は、地元の農家のようなたたずまい。奥の座敷の本格的な茶室には、お茶事とお能をたしなむひるさんも参戦。

得意な中華をつくるためのゆったりとした厨房と、研究者でもある旦那様の書斎に、モダンな広いお風呂もついて、これからが現場の本番です。

丸太の八面剥きはもちろん、入母屋造りの屋根やこれから進める数寄屋造りは、親子二代の大工工務店・渡辺棟梁の腕の見せ所です。

当事務所の仕事としても新しい展開を目指す家になりそうです。完成は5月末を予定しています。ご興味のある方は、内覧会をお待ち下さい。

「宮原の家」

「宮原の家」松丸太の刻み



- ◀上棟風景
大黒柱に丸太が載った迫力の建方
- ◀▲刻み現場
水平垂直を出すための丸太の難しい刻み
- ▼松丸太買付け
福島協和木材で1本づつ選びました
- ▼丸太八面剥き
渡辺棟梁も気合が入ります

